

E126 司法・犯罪心理学	
英名科目名	Criminal Forensic Psychology
大学名	佛教大学
連絡先	学生支援課 TEL 075-491-2141(代)
担当教員	近藤 日出夫(臨床心理学科教授)
開講期間	2021年09月20日(月)~2022年02月10日(木) 2講時 10時40分~12時10分(毎週木曜日) 最終週は定期試験週  なお、以下の日程は授業日ではありませんので注意してください。 2021年9月23日(木・祝) 秋分の日 2021年11月1日(月)~11月3日(水) 学園祭開催の為 2021年11月23日(火)~11月25日(木) 公募制推薦入試の為 2021年12月24日(金)~2022年1月7日(金) 年末年始休暇の為 2022年1月10日(月・祝) 成人の日 2022年1月14日(金) 大学入学共通テスト準備の為 2022年2月1日(火)~2月3日(木) 一般入試A日程の為
開講形態	後期・秋学期 開講曜日・講時 木曜日 2講時
単位数	2 履修年次 3年次以上
会場	紫野キャンパス
授業定員	
単位互換生定員	10 京カレッジ生定員
試験・評価方法	・定期試験(教室)70% 到達目標に示した項目に対する到達度によって評価する。 ・授業内課題 30% 毎回の授業内課題の提出およびその内容によって評価する。
超過時の選考方法	書類選考
受講料	
別途負担費用	
その他特記事項	
パッケージ科目	
低回生受講推奨科目	
講義概要・到達目標	
<p>授業のテーマ 犯罪領域における心理臨床の役割 犯罪者の心理臨床的理解・治療</p> <p>授業の概要 犯罪の動向、犯罪者処遇の実態を踏まえた上で、犯罪原因に関する諸理論、犯罪被害および家事事件についての基本知識を身に付ける。また、司法・犯罪分野における問題に対して必要な心理支援について学ぶ。</p> <p>授業の目的・ねらい 犯罪が社会文化的要因、生物学的要因、心理学的要因などが複合的に絡み合って生じるものであることを理解する。 我が国の刑事司法システムがどのように運用されているのかを適確に説明できるようになる。 心理学が犯罪予防、捜査、裁判、処遇、更生にどのように活用されているのかを理解する。</p> <p>到達目標 犯罪が社会文化的要因、生物学的要因、心理学的要因などが複合的に絡み合って生じるものであることを説明することができる。 我が国の刑事司法システムがどのように運用されているのかを適確に説明することができる。 心理学が犯罪予防、捜査、裁判、処遇、更生にどのように活用されているのかを説明することができる。</p> <p>授業時間外の学修(予習・復習等)についての具体的な指示 新聞、テレビ等で報道される犯罪ニュース、解説などに平素から興</p>	

味・関心を持ち、犯罪心理学的考え方を深める契機としていただきたい。 受講にあたっての留意事項 毎回授業内課題を実施する。	
講義スケジュール	
毎回の授業のテーマ・内容 第1回 犯罪司法心理学の目的 第2回 犯罪心理学の源流と生物学的要因 第3回 犯罪事例の検討~放火犯 第4回 犯罪への社会的アプローチその1 第5回 犯罪への社会的アプローチその2 第6回 環境犯罪学 第7回 刑務所における犯罪者処遇 第8回 犯罪の個人的要因~事例検討 第9回 犯罪の個人的要因~サイコパス1 第10回 犯罪の個人的要因~サイコパス2 第11回 性犯罪者に対する処遇 第12回 触法精神障害者への対応 第13回 犯罪被害者への支援 第14回 家事事件 第15回 裁判員裁判および司法面接	
教科書	
参考書	『犯罪心理学』大淵憲一(培風館) 『犯罪・非行の心理学』藤岡淳子(有斐閣ブックス) 『犯罪心理臨床』生島浩・村松励(金剛出版) 『司法・犯罪心理学』岡本吉生編(遠見書房)
	「犯罪・非行の心理学」、「犯罪心理臨床」は、基本的な考え方、制度、理論、実践などを幅広く、わかりやすくまとめている。 「犯罪心理学」は、体系的に犯罪理論をまとめるとともに、内外の文献を幅広く網羅している。 「司法・犯罪心理学」は公認心理師受験用のテキストとして編集されたものである。